

ユ ー ザ ー ズ ガ イ ド

～Windowsセットアップ編～

HA8000/RS110 AM1/BM1/CM1/EM1

HA8000/TS10 AM1/BM1/CM1/EM1

HA8000

2014年6月～モデル

マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

登録商標・商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ENERGY STAR と ENERGY STAR マークは、米国の登録商標です。

そのほか、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

発行

2014 年 6 月（初版）（廃版）

2015 年 4 月（初版）

版權

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved, Copyright © 2014, 2015, Hitachi, Ltd.

お知らせ

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いません。
なお、保証と責任については保証書裏面の「保証規定」をお読みください。

システム装置の信頼性について

ご購入いただきましたシステム装置は、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は意図されていませんし、保証もされていません。このような高信頼性を要求される用途へは使用しないでください。

高信頼性を必要とする場合には別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

一般事務用システム装置が不適当な、高信頼性を必要とする用途例

・化学プラント制御 ・医療機器制御 ・緊急連絡制御など

規制・対策などについて

□ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

□ 電源の瞬時電圧低下対策について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

□ 高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 — 第 3-2 部：限度値 — 高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

□ 雑音耐力について

本製品の外来電磁波に対する耐力は、国際電気標準会議規格 IEC61000-4-3「放射無線周波電磁界イミュニティ試験」のレベル 2 に相当する規定に合致していることを確認しております。

なお、レベル 2 とは、対象となる装置に近づけないで使用されている低出力の携帯型トランシーバから受ける程度の電磁環境です。

□ 輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規制など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、お買い求め先にお問い合わせください。

また、本製品に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いとなります。

□ 海外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。

なお、他国には各々の国で必要となる法律、規格などが定められており、本製品は適合していません。

□ 国際エネルギースタープログラム適合モデルについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



□ システム装置の廃棄について

事業者が廃棄する場合、廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。個人が廃棄する場合、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

また、システム装置内の電池を廃棄する場合もお買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

システム装置の廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

システム装置を譲渡あるいは廃棄するときには、ハードディスク／SSD の重要なデータ内容を消去する必要があります。

ハードディスク／SSD 内に書き込まれた「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトで初期化（フォーマット）する
- OS を再インストールする

などの作業をしますが、これらのことをしても、ハードディスク／SSD 内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけです。つまり、一見消去されたように見えますが、OS のもとでそれらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけであり、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがって、データ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、システム装置のハードディスク／SSD 内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

ハードディスク／SSD 上の重要なデータの流出を回避するため、システム装置を譲渡あるいは廃棄をする前に、ハードディスク／SSD に記録された全データをお客様の責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク／SSD を金づちや強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、データを読みなくすることをお勧めします。

なお、ハードディスク／SSD 上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくシステム装置を譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

はじめに



このたびは日立のシステム装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このマニュアルは、次のオペレーティングシステム（OS）のセットアップに関する情報を記載しています。

- Microsoft® Windows Server® 2012 R2
- Microsoft® Windows Server® 2012
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2

なお、OS の新規・再セットアップ手順および、OS を使用するうえでの注意事項・制限事項は、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』に記載しています。こちらのマニュアルもあわせてご参照ください。

マニュアルの表記

マニュアル内で使用しているマークの意味は次のとおりです。

通知	これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。
	システム装置の故障や障害の発生を防止し、正常に動作させるための事項を示します。
	システム装置を活用するためのアドバイスを示します。

□ システム装置の表記について

このマニュアルでは、システム装置を装置と略して表記することがあります。

また、システム装置を区別する場合には次のモデル名で表記します。

- RS110 AM1/BM1/CM1/EM1 モデル
- TS10 AM1/BM1/CM1/EM1 モデル

システム装置のモデルをすべて表す場合には

- RS110 xM1 モデル
- TS10 xM1 モデル

と表記します。

□ オペレーティングシステム（OS）の略称について

このマニュアルでは、次の OS 名称を省略して表記します。

- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard 日本語版
(以下 Windows Server 2012 R2 Standard または Windows Server 2012 R2、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2012 Standard 日本語版
(以下 Windows Server 2012 Standard または Windows Server 2012、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard 日本語版
(以下 Windows Server 2008 R2 Standard または Windows Server 2008 R2、Windows)

次のとおり、省略した「OS 表記」は、「対象 OS」中のすべてまたは一部を表すときに用います。

OS 表記	対象 OS
Windows Server 2012 R2 Standard *1 Windows Server 2012 R2 *1	・ Windows Server 2012 R2 Standard *1
Windows Server 2012 Standard *1 Windows Server 2012 *1	・ Windows Server 2012 Standard *1
Windows Server 2008 R2 Standard *1 Windows Server 2008 R2 *1	・ Windows Server 2008 R2 Standard *1
Windows	・ Windows Server 2012 R2 Standard *1 ・ Windows Server 2012 Standard *1 ・ Windows Server 2008 R2 Standard *1

*1 64bit 版のみ提供されます。

また、Windows の Service Pack についても SP と表記します。

ドライバ・ユーティリティなどの適用について

最新のドライバやユーティリティ、BIOS、ファームウェア アップデートプログラムを「HA8000 ホームページ」で提供しております。

■ ホームページアドレス： <http://www.hitachi.co.jp/ha8000/>

各アップデートプログラムの適用についてはお客様責任にて実施していただきますが、システム装置を安全にお使いいただくためにも、ホームページの「ダウンロード」タブをクリックした「ダウンロード」ページにある「ドライバ・ユーティリティ ダウンロード検索」を定期的にアクセスして、最新のドライバやユーティリティ、BIOS、ファームウェアへ更新いただくことをお勧めします。

なお、「Hitachi Server Navigator」を適用することにより、最新版のファームウェアおよびドライバの有無を確認し、ダウンロードおよびアップデートを実施することが可能です。

使いかたの詳細は『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator ユーザーズガイド』をご参照ください。

また、お客様による BIOS、ファームウェア アップデート作業が困難な場合は、有償でアップデート作業を代行するサービスをご提供いたします。詳細はお買い求め先にお問い合わせください。

『Hitachi Server Navigator』 DVD について

システム装置に添付される『Hitachi Server Navigator』DVD は、OS の新規・再インストール時に使用するインストーラやドライバ、ユーティリティが格納されています。

『Hitachi Server Navigator』DVD は次の条件を満たすものをお使いください。

- バージョン：「03-10」以降のもの
- DVD の使用対象モデルとしてシステム装置が明記されているもの

『Hitachi Server Navigator』DVD のバージョンはレーベルに表示されています。また、『Hitachi Server Navigator』DVD の使用対象モデルは、DVD の Support.html に記載されています。



適合しないバージョンや、対象モデルではないバージョンの『Hitachi Server Navigator』DVD は使用できません。



複数のバージョンの『Hitachi Server Navigator』DVD が添付される場合、最新のバージョンをお使いください。

使いかたの詳細は、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator ユーザーズガイド』をご参照ください。

サポート OS について

システム装置がサポートしている Windows OS は次のとおりです。

対象 OS	サポートしているシステム装置
Windows Server 2012 R2 Standard	RS110 xM1, TS10 xM1
Windows Server 2012 Standard	RS110 xM1, TS10 xM1
Windows Server 2008 R2 Standard + SP1	RS110 xM1, TS10 xM1
Windows Server 2008 R2 Standard	RS110 xM1, TS10 xM1

技術支援サービスについて

ハードウェアや OS、ソフトウェアの技術的なお問い合わせについては、「技術支援サービス」による有償サポートとなります。

▶ 総合サポートサービス「日立サポート 360」

ハードウェアと Windows や Linux など OS を一体化したサポートサービスをご提供いたします。詳細は次の URL で紹介しています。

■ ホームページアドレス <http://www.hitachi.co.jp/soft/support360/>

インストールや運用時のお問い合わせや問題解決など、システムの円滑な運用のためにサービスのご契約をお勧めします。

▶ HA8000 問題切分支援・情報提供サービス

ハードウェアとソフトウェアの問題切り分け支援により、システム管理者の負担を軽減します。詳細は次の URL で紹介しています。

■ ホームページアドレス <http://www.hitachi.co.jp/soft/HA8000/>

運用時の問題解決をスムーズに行うためにサービスのご契約をお勧めします。

なお、本サービスには OS の技術支援サービスは含まれません。OS の技術支援サービスを必要とされる場合は「日立サポート 360」のご契約をお勧めします。

安全にお使いいただくために

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「警告」、「注意」および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全警告記号です。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージにしたがってください。



警告

これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



注意

これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

通知

これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。



【表記例 1】 感電注意

▲の図記号は注意していただきたいことを示し、▲の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例 2】 分解禁止

⊘の図記号は行ってはいけないことを示し、⊘の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

なお、⊘の中に絵がないものは、一般的な禁止事項を示します。



【表記例 3】 電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

なお、❗は一般的に行っていただきたい事項を示します。

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがって行ってください。
- 本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- 本製品に搭載または接続するオプションなど、ほかの製品に添付されているマニュアルも参照し、記載されている注意事項を必ず守ってください。

これを怠ると、人身上の傷害やシステムを含む財産の損害を引き起こすおそれがあります。

操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

本製品について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

自分自身でもご注意を

本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作にあたっては、指示にしたがうだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

本マニュアル内の警告表示

警告

本マニュアル内にはありません。

注意

本マニュアル内にはありません。

通知

再セットアップについて

セットアップしなおすと、ハードディスクの内容は削除されます。必要なデータは事前にバックアップをお取りください。

『関連ページ』 → [P.3](#)、[P.11](#)、[P.20](#)

目次

登録商標・商標	ii
発行	ii
著作権	ii
お知らせ	iii
重要なお知らせ	iii
システム装置の信頼性について	iii
規制・対策などについて	iii
システム装置の廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意	v
はじめに	vi
マニュアルの表記	vi
ドライバ・ユーティリティなどの適用について	viii
『Hitachi Server Navigator』DVD について	viii
サポート OS について	ix
技術支援サービスについて	ix
安全にお使いいただくために	x
本マニュアル内の警告表示	xi
目次	xii
1 Windows Server 2012 R2 編	1
1.1 セットアップの概要	2
1.1.1 プレイインストールモデル	2
1.1.2 新規・再セットアップ	3
1.2 セットアップ方法	4
1.2.1 プレイインストールモデル	4
1.2.2 新規・再セットアップ	5
1.3 プレイインストールモデルのセットアップ	6
1.3.1 セットアップ時の制限	6
1.3.2 セットアップ手順	6
1.4 OS の新規・再セットアップ	8
2 Windows Server 2012 編	9
2.1 セットアップの概要	10
2.1.1 プレイインストールモデル	10
2.1.2 新規・再セットアップ	11
2.2 セットアップ方法	12
2.2.1 プレイインストールモデル	12
2.2.2 新規・再セットアップ	13

2.3 プレインストールモデルのセットアップ	14
2.3.1 セットアップ時の制限	14
2.3.2 セットアップ手順	14
2.4 OS の新規・再セットアップ	16
3 Windows Server 2008 R2 編	17
3.1 セットアップの概要	18
3.1.1 プレインストールモデル	18
3.1.2 インストール代行サービス付モデル	19
3.1.3 新規・再セットアップ	20
3.2 セットアップ方法	21
3.2.1 プレインストールモデル	21
3.2.2 インストール代行サービス付モデル	21
3.2.3 新規・再セットアップ	22
3.3 プレインストールモデルのセットアップ	23
3.3.1 セットアップ時の制限	23
3.3.2 セットアップ手順	23
3.4 インストール代行サービス付モデルのセットアップ	25
3.4.1 セットアップ時の制限	25
3.4.2 セットアップ手順	25
3.5 OS の新規・再セットアップ	27
付録	29
付録 A Windows 情報	30
付録 A.1 Windows 情報の提供サイト	30
付録 A.2 Windows 使用上の制限事項	30
付録 B Windows Server ファミリについて	31
付録 B.1 Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012	31
付録 B.2 Windows Server 2008 R2	31
付録 C 付属ソフトウェア	32
付録 D Windows 使用時の補足情報	33
付録 D.1 標準 LAN コントローラについて	33
索引	34

[illegible]

1

Windows Server 2012 R2 編

この章では、Windows Server 2012 R2 のセットアップの概要と、プレインストールモデルのセットアップ手順について説明します。

1.1 セットアップの概要	2
1.2 セットアップ方法	4
1.3 プレインストールモデルのセットアップ	6
1.4 OS の新規・再セットアップ	8

1.1 セットアップの概要

ここでは、Windows Server 2012 R2 のセットアップ概要について説明します。

1.1.1 プレインストールモデル

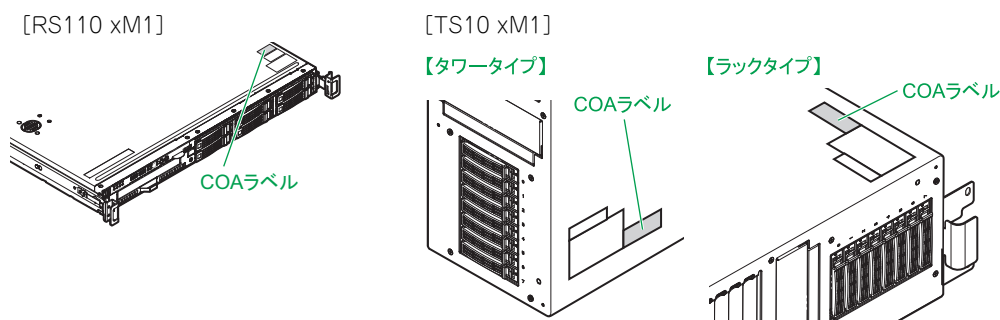
プレインストールモデルは、工場出荷時にあらかじめ OS インストールファイルが内蔵ディスクに格納されます。ディスクパーティション設定などの準備や OS インストールファイルのコピーなどの手間を省くことができ、OS のセットアップ時間を短縮することができます。

また、ご購入時に「OS カスタムセットアップサービス」で設定項目を指定いただいた場合、ディスクパーティションサイズやコンピュータ名などがカスタマイズされています。

▶ COA (Certificate of Authenticity) について

COA ラベルは、正規の Microsoft ソフトウェアを見分けるのに役立つラベルです。

Windows Server 2012 R2 プレインストールモデルには、システム装置の次の箇所に、モデルに対応するエディションの COA ラベルが貼り付けられています。



なお、システム装置添付の『安全にお使いいただくために』に、COA ラベルに記載される Product Key のコピーが貼り付けられています。

1.1.2 新規・再セットアップ

OS の新規・再セットアップは、『Hitachi Server Navigator』DVD と OS インストールメディアを用いて内蔵ディスクにインストールします。

再セットアップは、ディスクパーティションの設定変更を行ったり、障害が発生した OS の修復ができなかったりした場合などに行います。

セットアップの詳細については、『ユーザズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

通知

セットアップしなおすと、ハードディスクの内容は削除されます。必要なデータは事前にバックアップをお取りください。



Windows プレインストールモデルにおいては一部修正プログラムを含んで出荷いたします。Windows の再セットアップを行っても修正プログラムはインストールされないため、厳密にはプレインストールの状態に戻りません。『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』を参照し、Windows セットアップ後に修正プログラムのインストールを行ってください。

1.2 セットアップ方法

ここでは、Windows Server 2012 R2 のセットアップ方法について説明します。



- Windows セットアップやドライバ、ユーティリティのインストールは、『Hitachi Server Navigator』DVD のバージョンが「03-10」以降で、DVD の使用対象モデルとしてシステム装置が Support.html に明記されているものを使用してください。適合しない『Hitachi Server Navigator』DVD を使用すると、正常に動作しない原因となります。
- ドライバは手順にしたがって指定されるものを適用してください。指定外のドライバを使用された場合正常に動作しません。

1.2.1 プレインストールモデル

プレインストールモデルは、はじめにシステム装置の電源を入れると OS のセットアップが開始されます。

セットアップ時に使用するメディアは次のとおりです。

▶ 『Hitachi Server Navigator』DVD

▶ OS インストールメディア（セットアップ DVD）

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 Standard プレインストールモデル付属の『サーバイnstall DVD-ROM Windows Server® 2012 R2 Standard Disc1 (Ver 1.0)』DVD-ROM
	リテール版またはボリュームライセンス提供の『「Windows Server® 2012 R2」 Standard』DVD-ROM

1.2.2 新規・再セットアップ

セットアップの詳細については、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

セットアップ時に使用するメディアは次のとおりです。

▶『Hitachi Server Navigator』DVD

▶OS インストールメディア（セットアップ DVD）

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 Standard プレインストールモデル付属の『サーバイnstall DVD-ROM Windows Server® 2012 R2 Standard Disc1 (Ver 1.0)』DVD-ROM
	リテール版またはボリュームライセンス提供の『「Windows Server® 2012 R2」 Standard』DVD-ROM

1.3 プレインストールモデルのセットアップ

ここでは、Windows Server 2012 R2 プレインストールモデルのセットアップ手順について説明します。

なお、拡張ボードのドライバのインストール手順については、『ユーザズガイド』CD-ROM に格納される拡張ボードのマニュアルをご参照ください。

1.3.1 セットアップ時の制限

- システム装置内蔵オプションデバイスの増設

はじめてシステム装置の電源を入れる前に、内蔵オプションデバイスを増設しないでください。

また、工場出荷時に内蔵オプションデバイスが搭載されている場合、オプションデバイスにメディアを入れないでください。OS インストールファイルが格納された内蔵ディスクを認識しない場合があります。

- 外付けオプションデバイスの接続

外付けのディスクアレイ装置を接続している場合、装置の電源は切った状態でセットアップを行ってください。インストール先が正しく認識されません。

- ブートパーティション

プレインストールモデルの場合、OS をインストールする論理ドライブ(ブートパーティション)は MBR (Master Boot Record) 形式でフォーマットされています。

ブートパーティションが 2TB (2199GB) 以上必要な場合、GPT (GUID Partition Table) 形式でフォーマットし、OS を再インストールする必要があります。

ブートパーティションを GPT 形式でフォーマットするためには、UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) ブートモードで OS をインストールする必要があります。UEFI ブートモードは、RS110 AM1/BM1 モデルおよび、TS10 AM1/BM1 モデルにおいて、Windows Server 2012 R2 でサポートしています。

UEFI ブートについては『ユーザズガイド ～ BIOS 編～』および『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

1.3.2 セットアップ手順

はじめて電源を投入したあと、しばらくして [ライセンス条項をお読みください] が表示されます。手順にしたがって設定を行ってください。



設定手順の表示項目について

次の手順は、お客様がプレインストールでの工場設定値を何もご指定いただいていない場合について記載しております。お客様があらかじめ工場設定値をご指定いただいている場合は、次の手順で表示されないあるいは、表示されても入力済みとなっているものがあります。

- 1 内容を確認し問題なければ、[同意します] ボタンをクリックします。
「設定：パスワードの入力」画面が表示されます。
- 2 パスワードとパスワードの確認入力に、設定するパスワードを入力します。
[完了] ボタンが押下可能になります。
- 3 [完了] ボタンをクリックします。
画面に「サインインするには Ctrl+Alt+Del キーを押してください。」とメッセージが表示されます。
[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押します。
- 4 Administrator ログオン画面が表示されるので、設定したパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。
- 5 OS ログオンが完了したあとユーティリティの [License Agreement] ダイアログが表示されるので、「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れて [続行] ボタンをクリックします。
ユーティリティのインストールが開始されます。

…
補足

- [License Agreement] ダイアログがサーバーマネージャーに隠れる場合があります。
[License Agreement] ダイアログを前面に表示して、処理を続行してください。
- 「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れず [インストールしない] ボタンをクリックした場合、次のユーティリティがインストールされません。
 - ・ JP1/Server Conductor/Agent
 - ・ JP1/Server Conductor/Advanced Agent
 - ・ IT Report Utility
 これらのユーティリティをあとからインストールする場合は、各ユーティリティのマニュアルにしたがってインストールを行ってください。
- インストール中、自動的に再起動される場合があります。

インストール完了後、"OS インストール処理を続行中" 画面が表示されます。

- 6 内容を確認し、[終了] ボタンをクリックします。

以上で、Windows Server 2012 R2 プレインストールモデルのセットアップは完了です。

インストールされるユーティリティについては、『Hitachi Server Navigator』DVD の Support.html をご参照ください。

…
補足

- システム装置に必要なユーティリティはセットアップ完了後、各ユーティリティのマニュアルを参照してアンインストールしてください。
- OS セットアップ後に拡張ボードや内蔵オプションを増設した場合、必要となるドライバは拡張ボードおよび内蔵オプションのマニュアルを参照してインストールしてください。

1.4 OS の新規・再セットアップ

OS の新規・再セットアップは『Hitachi Server Navigator』DVD と OS インストールメディアを使用して行います。

必要なドライバやユーティリティを漏れなくインストールするため、OS のセットアップには「Hitachi Server Navigator」の OS セットアップ機能（Installation Assistant）の使用をお勧めします。

セットアップの詳細については、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

…
補足

- OS をインストールする論理ドライブ（ブートパーティション）が 2TB（2199GB）以上必要な場合、UEFI（Unified Extensible Firmware Interface）ブートモードで OS をインストールする必要があります。UEFI ブートモードは、RS110 AM1/BM1 モデルおよび、TS10 AM1/BM1 モデルにおいて、Windows Server 2012 R2 でサポートしています。UEFI ブートについては『ユーザーズガイド ～ BIOS 編～』および『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。
- 「Hitachi Server Navigator」の Installation Assistant を使用しない場合、手動で OS やドライバ、ユーティリティなどをインストールする必要があります。詳細については『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

2

Windows Server 2012 編

この章では、Windows Server 2012 のセットアップの概要と、プレインストールモデルのセットアップ手順について説明します。

2.1 セットアップの概要	10
2.2 セットアップ方法	12
2.3 プレインストールモデルのセットアップ	14
2.4 OS の新規・再セットアップ	16

2.1 セットアップの概要

ここでは、Windows Server 2012 のセットアップ概要について説明します。

2.1.1 プレインストールモデル

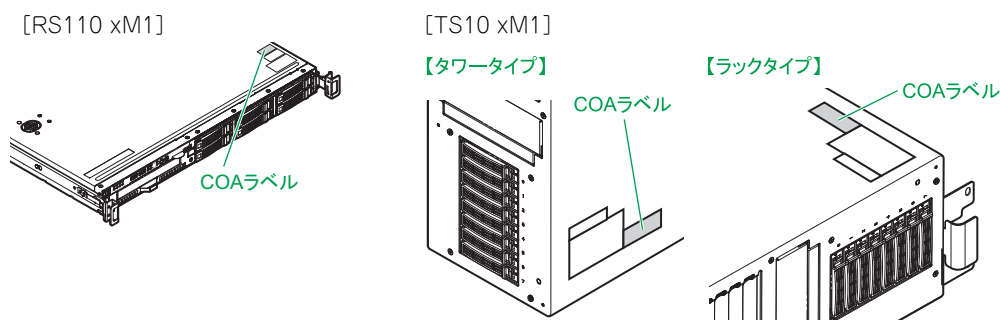
プレインストールモデルは、工場出荷時にあらかじめ OS インストールファイルが内蔵ディスクに格納されます。ディスクパーティション設定などの準備や OS インストールファイルのコピーなどの手間を省くことができ、OS のセットアップ時間を短縮することができます。

また、ご購入時に「OS カスタムセットアップサービス」で設定項目を指定いただいた場合、ディスクパーティションサイズやコンピュータ名などがカスタマイズされています。

▶ COA (Certificate of Authenticity) について

COA ラベルは、正規の Microsoft ソフトウェアを見分けるのに役立つラベルです。

Windows Server 2012 プレインストールモデルには、システム装置の次の箇所に、モデルに対応するエディションの COA ラベルが貼り付けられています。



なお、システム装置添付の『安全にお使いいただくために』に、COA ラベルに記載される Product Key のコピーが貼り付けられています。

2.1.2 新規・再セットアップ

OS の新規・再セットアップは、『Hitachi Server Navigator』DVD と OS インストールメディアを用いて内蔵ディスクにインストールします。

再セットアップは、ディスクパーティションの設定変更を行ったり、障害が発生した OS の修復ができなかったりした場合などに行います。

セットアップの詳細については、『ユーザズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

通知

セットアップしなおすと、ハードディスクの内容は削除されます。必要なデータは事前にバックアップをお取りください。



Windows プレインストールモデルにおいては一部修正プログラムを含んで出荷いたします。Windows の再セットアップを行っても修正プログラムはインストールされないため、厳密にはプレインストールの状態に戻りません。『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』を参照し、Windows セットアップ後に修正プログラムのインストールを行ってください。

2.2 セットアップ方法

ここでは、Windows Server 2012 のセットアップ方法について説明します。



- Windows セットアップやドライバ、ユーティリティのインストールは、『Hitachi Server Navigator』DVD のバージョンが「03-10」以降で、DVD の使用対象モデルとしてシステム装置が Support.html に明記されているものを使用してください。適合しない『Hitachi Server Navigator』DVD を使用すると、正常に動作しない原因となります。
- ドライバは手順にしたがって指定されるものを適用してください。指定外のドライバを使用された場合正常に動作しません。

2.2.1 プレインストールモデル

プレインストールモデルは、はじめにシステム装置の電源を入れると OS のセットアップが開始されます。

セットアップ時に使用するメディアは次のとおりです。

▶ 『Hitachi Server Navigator』DVD

▶ OS インストールメディア（セットアップ DVD）

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2012 Standard	Windows Server 2012 Standard プレインストールモデル付属の『サーバインストール DVD-ROM Windows Server® 2012 Standard Disc1 (Ver 1.1)』DVD-ROM
	リテール版またはボリュームライセンス提供の『「Windows Server® 2012」 Standard』DVD-ROM

2.2.2 新規・再セットアップ

セットアップの詳細については、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

セットアップ時に使用するメディアは次のとおりです。

▶『Hitachi Server Navigator』DVD

▶OS インストールメディア（セットアップ DVD）

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2012 Standard	Windows Server 2012 Standard プレインストールモデル付属の『サーバインストール DVD-ROM Windows Server® 2012 Standard Disc1 (Ver 1.1)』DVD-ROM
	Windows® メディアキット（ダウングレード／ダウンエディション OS）（GQS-CSW12SEX）の『Microsoft® Windows Server 2012』DVD-ROM *1
	リテール版またはボリュームライセンス提供の『「Windows Server® 2012」 Standard』DVD-ROM

*1 インストール時にライセンス認証を行う必要があります。Windows® メディアキットに添付される Product Key をお使いください。

2.3 プレインストールモデルのセットアップ

ここでは、Windows Server 2012 プレインストールモデルのセットアップ手順について説明します。なお、拡張ボードのドライバのインストール手順については、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される拡張ボードのマニュアルをご参照ください。

2.3.1 セットアップ時の制限

- システム装置内蔵オプションデバイスの増設

はじめてシステム装置の電源を入れる前に、内蔵オプションデバイスを増設しないでください。

また、工場出荷時に内蔵オプションデバイスが搭載されている場合、オプションデバイスにメディアを入れないでください。OS インストールファイルが格納された内蔵ディスクを認識しない場合があります。

- 外付けオプションデバイスの接続

外付けのディスクアレイ装置を接続している場合、装置の電源は切った状態でセットアップを行ってください。インストール先が正しく認識されません。

- ブートパーティション

プレインストールモデルの場合、OS をインストールする論理ドライブ(ブートパーティション)は MBR (Master Boot Record) 形式でフォーマットされています。

ブートパーティションが 2TB (2199GB) 以上必要な場合、GPT (GUID Partition Table) 形式でフォーマットし、OS を再インストールする必要があります。

ブートパーティションを GPT 形式でフォーマットするためには、UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) ブートモードで OS をインストールする必要があります。UEFI ブートモードは、RS110 AM1/BM1 モデルおよび、TS10 AM1/BM1 モデルにおいて、Windows Server 2012 でサポートしています。

UEFI ブートについては『ユーザーズガイド ~ BIOS 編~』および『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

2.3.2 セットアップ手順

はじめて電源を投入したあと、しばらくして [ライセンス条項をお読みください] が表示されます。手順にしたがって設定を行ってください。



設定手順の表示項目について

次の手順は、お客様がプレインストールでの工場設定値を何もご指定いただいていない場合について記載しております。お客様があらかじめ工場設定値をご指定いただいている場合は、次の手順で表示されないあるいは、表示されても入力済みとなっているものがあります。

- 1 内容を確認し問題なければ、「ライセンス条項に同意します」をチェックします。

[同意する] ボタンが押下可能になります。

- 2 [同意する] ボタンをクリックします。
「設定：パスワードの入力」画面が表示されます。
- 3 パスワードとパスワードの確認入力に、設定するパスワードを入力します。
[完了] ボタンが押下可能になります。
- 4 [完了] ボタンをクリックします。
画面に「サインインするには Ctrl+Alt+Del キーを押してください。」とメッセージが表示されます。
[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押します。
- 5 Administrator ログオン画面が表示されるので、設定したパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。
- 6 OS ログオンが完了したあとユーティリティの [License Agreement] ダイアログが表示されるので、「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れて [続行] ボタンをクリックします。
ユーティリティのインストールが開始されます。

…
補足

- [License Agreement] ダイアログがサーバーマネージャーに隠れる場合があります。
[License Agreement] ダイアログを前面に表示して、処理を続行してください。
- 「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れず [インストールしない] ボタンをクリックした場合、次のユーティリティがインストールされません。
 - ・ JP1/Server Conductor/Agent
 - ・ JP1/Server Conductor/Advanced Agent
 - ・ IT Report Utility
 これらのユーティリティをあとからインストールする場合は、各ユーティリティのマニュアルにしたがってインストールを行ってください。
- インストール中、自動的に再起動される場合があります。

インストール完了後、"OS インストール処理を続行中" 画面が表示されます。

- 7 内容を確認し、[終了] ボタンをクリックします。

以上で、Windows Server 2012 プレインストールモデルのセットアップは完了です。

インストールされるユーティリティについては、『Hitachi Server Navigator』DVD の Support.html をご参照ください。

…
補足

- システム装置に必要なユーティリティはセットアップ完了後、各ユーティリティのマニュアルを参照してアンインストールしてください。
- OS セットアップ後に拡張ボードや内蔵オプションを増設した場合、必要となるドライバは拡張ボードおよび内蔵オプションのマニュアルを参照してインストールしてください。

2.4 OS の新規・再セットアップ

OS の新規・再セットアップは『Hitachi Server Navigator』DVD と OS インストールメディアを使用して行います。

必要なドライバやユーティリティを漏れなくインストールするため、OS のセットアップには「Hitachi Server Navigator」の OS セットアップ機能（Installation Assistant）の使用をお勧めします。

セットアップの詳細については、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

…
補足

- OS をインストールする論理ドライブ（ブートパーティション）が 2TB（2199GB）以上必要な場合、UEFI（Unified Extensible Firmware Interface）ブートモードで OS をインストールする必要があります。UEFI ブートモードは、RS110 AM1/BM1 モデルおよび、TS10 AM1/BM1 モデルにおいて、Windows Server 2012 でサポートしています。
UEFI ブートについては『ユーザーズガイド ～ BIOS 編～』および『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。
- 「Hitachi Server Navigator」の Installation Assistant を使用しない場合、手動で OS やドライバ、ユーティリティなどをインストールする必要があります。詳細については『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

3

Windows Server 2008 R2 編

この章では、Windows Server 2008 R2 のセットアップの概要と、プレインストールモデル / インストール代行サービス付モデルのセットアップ手順について説明します。

3.1 セットアップの概要	18
3.2 セットアップ方法	21
3.3 プレインストールモデルのセットアップ	23
3.4 インストール代行サービス付モデルのセットアップ	25
3.5 OS の新規・再セットアップ	27

3.1 セットアップの概要

ここでは、Windows Server 2008 R2 のセットアップ概要について説明します。

3.1.1 プレインストールモデル

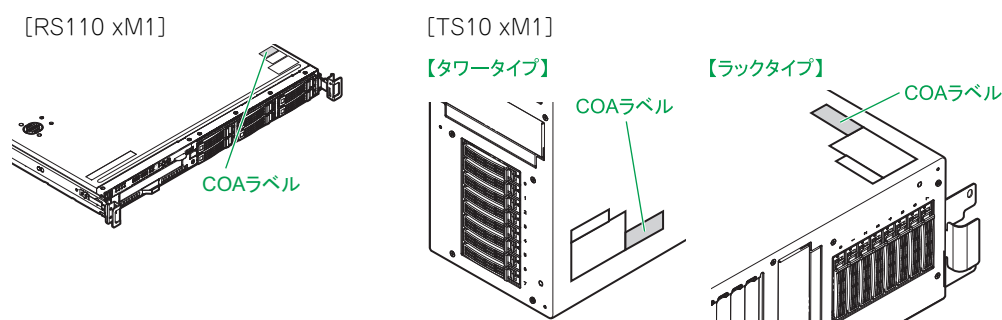
プレインストールモデルは、工場出荷時にあらかじめ OS インストールファイルが内蔵ディスクに格納されます。ディスクパーティション設定などの準備や OS インストールファイルのコピーなどの手間を省くことができ、OS のセットアップ時間を短縮することができます。

また、ご購入時に「OS カスタムセットアップサービス」で設定項目を指定いただいた場合、ディスクパーティションサイズやコンピュータ名などがカスタマイズされています。

▶ COA (Certificate of Authenticity) について

COA ラベルは、正規の Microsoft ソフトウェアを見分けるのに役立つラベルです。

Windows Server 2008 R2 プレインストールモデルには、システム装置の次の箇所に、モデルに対応するエディションの COA ラベルが貼り付けられています。



なお、システム装置添付の『安全にお使いいただくために』に、COA ラベルに記載される Physical Key (Product Key) / Virtual Key のコピーが貼り付けられています。

3.1.2 インストール代行サービス付モデル

インストール代行サービス付モデルは、Windows Server 2012 R2 のダウングレード権に基づき Windows Server 2008 R2 をお客様に代わりインストールしたモデルです。ディスクパーティション設定などの準備や OS インストールファイルのコピーなどの手間を省くことができ、OS のセットアップ時間を短縮することができます。

また、ご購入時に「OS カスタムセットアップサービス」で設定項目を指定いただいた場合、ディスクパーティションサイズやコンピュータ名などがカスタマイズされています。

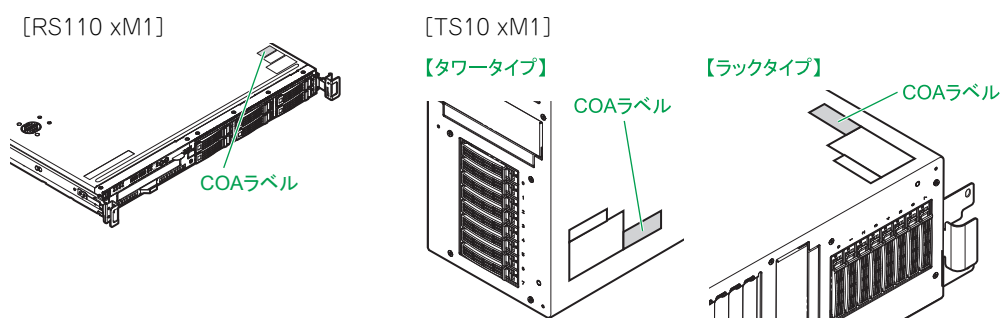
インストール代行サービス付モデルの対象 OS は次のとおりです。

- Windows Server 2008 R2 Standard
(Windows Server 2012 R2 Standard プレインストールモデルからダウングレード)

▶ COA (Certificate of Authenticity) について

COA ラベルは、正規の Microsoft ソフトウェアを見分けるのに役立つラベルです。

Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル (Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデル) には、システム装置の次の箇所に、モデルに対応する Windows Server 2012 R2 の COA ラベルが貼り付けられています。



Windows Server 2008 R2 の Physical Key (Product Key) / Virtual Key は、添付される Windows® メディアキットに記載されています。

3.1.3 新規・再セットアップ

OS の新規・再セットアップは、『Hitachi Server Navigator』DVD と OS インストールメディアを用いて内蔵ディスクにインストールします。

再セットアップは、ディスクパーティションの設定変更を行ったり、障害が発生した OS の修復ができなかったりした場合などに行います。

セットアップの詳細については、『ユーザズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

通知

セットアップしなすと、ハードディスクの内容は削除されます。必要なデータは事前にバックアップをお取りください。



Windows プレインストールモデルにおいては一部修正プログラムを含んで出荷いたします。Windows の再セットアップを行っても修正プログラムはインストールされないため、厳密にはプレインストールの状態に戻りません。『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』を参照し、Windows セットアップ後に修正プログラムのインストールを行ってください。

3.2 セットアップ方法

ここでは、Windows Server 2008 R2 のセットアップ方法について説明します。



- Windows セットアップやドライバ、ユーティリティのインストールは、『Hitachi Server Navigator』DVD のバージョンが「03-10」以降で、DVD の使用対象モデルとしてシステム装置が Support.html に明記されているものを使用してください。適合しない『Hitachi Server Navigator』DVD を使用すると、正常に動作しない原因となります。
- ドライバは手順にしたがって指定されるものを適用してください。指定外のドライバを使用した場合正常に動作しません。

3.2.1 プレインストールモデル

プレインストールモデルは、はじめにシステム装置の電源を入れると OS のセットアップが開始されます。

セットアップ時に使用するメディアは次のとおりです。

▶ 『Hitachi Server Navigator』DVD

▶ OS インストールメディア（セットアップ DVD）

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2008 R2 Standard	Windows Server 2008 R2 Standard プレインストールモデル付属の『サーバインストール DVD-ROM Disc1 (Ver 1.3)』DVD-ROM
	リテール版またはボリュームライセンス提供の『Microsoft® Windows Server 2008 R2』Standard』DVD-ROM

3.2.2 インストール代行サービス付モデル

インストール代行サービス付モデルは、はじめにシステム装置の電源を入れると OS のセットアップが開始されます。

セットアップ時に使用するメディアは次のとおりです。

▶ 『Hitachi Server Navigator』DVD

▶ OS インストールメディア（セットアップ DVD）

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2008 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（インストール代行サービス付モデル）付属の Windows® メディアキット：Windows Server 2008 R2 Standard 用『Microsoft® Windows Server 2008 R2』DVD-ROM *1

*1 SP1 適用済みメディア（スリップストリームメディア）です。
また、インストール時にはライセンス認証を行う必要があります。Windows® メディアキットに添付される Physical Key (Product Key) / Virtual Key をお使いください。

3.2.3 新規・再セットアップ

セットアップの詳細については、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

セットアップ時に使用するメディアは次のとおりです。

▶『Hitachi Server Navigator』DVD

▶OS インストールメディア（セットアップ DVD）

対象 OS	対象 DVD-ROM
Windows Server 2008 R2 Standard	Windows Server 2008 R2 Standard プレインストールモデル付属の『サーバインストール DVD-ROM Disc1 (Ver 1.3)』DVD-ROM
	Windows Server 2012 R2 プレインストールモデル（インストール代行サービス付モデル）付属の Windows® メディアキット：Windows Server 2008 R2 Standard 用『Microsoft® Windows Server 2008 R2』DVD-ROM *1
	Windows® メディアキット（ダウングレード／ダウンエディション OS）（GQS-CSW08R2SEX）の『Windows Server® 2008 R2』DVD-ROM *1
	リテール版またはボリュームライセンス提供の『Microsoft® Windows Server 2008 R2』Standard』DVD-ROM

*1 SP1 適用済みメディア（スリップストリームメディア）です。
また、インストール時にはライセンス認証を行う必要があります。Windows® メディアキットに添付される Physical Key（Product Key）/ Virtual Key をお使いください。

▶Service Pack インストールメディア（サービスパック DVD）

対象 SP	対象 DVD-ROM
SP1	Windows Server 2008 R2 プレインストールモデル付属の『Windows Server® 2008 R2 Service Pack 1』DVD-ROM

3.3 プレインストールモデルのセットアップ

ここでは、Windows Server 2008 R2 プレインストールモデルのセットアップ手順について説明します。

なお、拡張ボードのドライバのインストール手順については、『ユーザズガイド』CD-ROM に格納される拡張ボードのマニュアルをご参照ください。

3.3.1 セットアップ時の制限

- システム装置内蔵オプションデバイスの増設

はじめてシステム装置の電源を入れる前に、内蔵オプションデバイスを増設しないでください。

また、工場出荷時に内蔵オプションデバイスが搭載されている場合、オプションデバイスにメディアを入れないでください。OS インストールファイルが格納された内蔵ディスクを認識しない場合があります。

- 外付けオプションデバイスの接続

外付けのディスクアレイ装置を接続している場合、装置の電源は切った状態でセットアップを行ってください。インストール先が正しく認識されません。

3.3.2 セットアップ手順

はじめて電源を投入したあと、しばらくして「ライセンス条項をお読みください」が表示されます。手順にしたがって設定を行ってください。



- 設定手順の表示項目について

次の手順は、お客様がプレインストールでの工場設定値を何もご指定いただいていない場合について記載しております。お客様があらかじめ工場設定値をご指定いただいている場合は、次の手順で表示されないあるいは、表示されても入力済みとなっているものがあります。

- Service Pack について

Windows Server 2008 R2 プレインストールモデルは、Service Pack 1 が適用された状態でインストールされます。

- 1 内容を確認し問題なければ、「ライセンス条項に同意します」をチェックします。

「同意する」ボタンが押下可能になります。

- 2 「同意する」ボタンをクリックします。

「設定：パスワードの入力」画面が表示されます。

- 3 パスワードとパスワードの確認入力に、設定するパスワードを入力します。

「完了」ボタンが押下可能になります。

- 4 [完了] ボタンをクリックします。
画面に「サインインするには Ctrl+Alt+Del キーを押してください。」とメッセージが表示されます。
[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押します。
- 5 Administrator ログオン画面が表示されるので、設定したパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。
- 6 OS ログオンが完了したあとユーティリティの [License Agreement] ダイアログが表示されるので、「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れて [続行] ボタンをクリックします。
ユーティリティのインストールが開始されます。

…
補足

- [License Agreement] ダイアログがサーバーマネージャーに隠れる場合があります。
[License Agreement] ダイアログを前面に表示して、処理を続行してください。
- 「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れず [インストールしない] ボタンをクリックした場合、次のユーティリティがインストールされません。
 - ・ JP1/Server Conductor/Agent
 - ・ JP1/Server Conductor/Advanced Agent
 - ・ IT Report Utility
 これらのユーティリティをあとからインストールする場合は、各ユーティリティのマニュアルにしたがってインストールを行ってください。
- インストール中、自動的に再起動される場合があります。

インストール完了後、"OS インストール処理を続行中" 画面が表示されます。

- 7 内容を確認し、[終了] ボタンをクリックします。

以上で、Windows Server 2008 R2 プレインストールモデルのセットアップは完了です。

インストールされるユーティリティについては、『Hitachi Server Navigator』DVD の Support.html をご参照ください。

…
補足

- システム装置に必要のないユーティリティはセットアップ完了後、各ユーティリティのマニュアルを参照してアンインストールしてください。
- OS セットアップ後に拡張ボードや内蔵オプションを増設した場合、必要となるドライバは拡張ボードおよび内蔵オプションのマニュアルを参照してインストールしてください。

3.4 インストール代行サービス付モデルのセットアップ

ここでは、Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデルのセットアップ手順について説明します。

なお、拡張ボードのドライバのインストール手順については、『ユーザズガイド』CD-ROM に格納される拡張ボードのマニュアルをご参照ください。

3.4.1 セットアップ時の制限

- システム装置内蔵オプションデバイスの増設

はじめてシステム装置の電源を入れる前に、内蔵オプションデバイスを増設しないでください。

また、工場出荷時に内蔵オプションデバイスが搭載されている場合、オプションデバイスにメディアを入れないでください。OS インストールファイルが格納された内蔵ディスクを認識しない場合があります。

- 外付けオプションデバイスの接続

外付けのディスクアレイ装置を接続している場合、装置の電源は切った状態でセットアップを行ってください。インストール先が正しく認識されません。

3.4.2 セットアップ手順

はじめて電源を投入したあと、しばらくして「ライセンス条項をお読みください」が表示されます。手順にしたがって設定を行ってください。

…
補足

- 設定手順の表示項目について

次の手順は、お客様がプレインストールでの工場設定値を何もご指定いただいていない場合について記載しております。お客様があらかじめ工場設定値をご指定いただいている場合は、次の手順で表示されないあるいは、表示されても入力済みとなっているものがあります。

- Service Pack について

Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデルは、Service Pack 1 が適用された状態でインストールされます。

- 1 内容を確認し問題なければ、「ライセンス条項に同意します」をチェックします。

「同意する」ボタンが押下可能になります。

- 2 「同意する」ボタンをクリックします。

「設定：パスワードの入力」画面が表示されます。

- 3 パスワードとパスワードの確認入力に、設定するパスワードを入力します。

「完了」ボタンが押下可能になります。

4 [完了] ボタンをクリックします。

画面に「サインインするには Ctrl+Alt+Del キーを押してください。」とメッセージが表示されます。

[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押します。

5 Administrator ログオン画面が表示されるので、設定したパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。**6** OS ログオンが完了したあとユーティリティの [License Agreement] ダイアログが表示されるので、「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れて [続行] ボタンをクリックします。

ユーティリティのインストールが開始されます。

…
補足

- [License Agreement] ダイアログがサーバーマネージャーに隠れる場合があります。
[License Agreement] ダイアログを前面に表示して、処理を続行してください。
- 「すべてのライセンス契約条件に同意する」にチェックを入れず [インストールしない] ボタンをクリックした場合、次のユーティリティがインストールされません。
 - ・ JP1/Server Conductor/Agent
 - ・ JP1/Server Conductor/Advanced Agent
 - ・ IT Report Utilityこれらのユーティリティをあとからインストールする場合は、各ユーティリティのマニュアルにしたがってインストールを行ってください。
- インストール中、自動的に再起動される場合があります。

インストール完了後、"OS インストール処理を続行中" 画面が表示されます。

7 内容を確認し、[終了] ボタンをクリックします。

以上で、Windows Server 2008 R2 インストール代行サービス付モデルのセットアップは完了です。

インストールされるユーティリティについては、『Hitachi Server Navigator』DVD の Support.html をご参照ください。

…
補足

- システム装置に必要のないユーティリティはセットアップ完了後、各ユーティリティのマニュアルを参照してアンインストールしてください。
- OS セットアップ後に拡張ボードや内蔵オプションを増設した場合、必要となるドライバは拡張ボードおよび内蔵オプションのマニュアルを参照してインストールしてください。

3.5 OS の新規・再セットアップ

OS の新規・再セットアップは『Hitachi Server Navigator』DVD と OS インストールメディアを使用して行います。

必要なドライバやユーティリティを漏れなくインストールするため、OS のセットアップには「Hitachi Server Navigator」の OS セットアップ機能（Installation Assistant）の使用をお勧めします。

セットアップの詳細については、『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。



「Hitachi Server Navigator」の Installation Assistant を使用しない場合、手動で OS やドライバ、ユーティリティなどをインストールする必要があります。詳細については『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』をご参照ください。

— MEMO —

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



付録

付録 A Windows 情報.....30

付録 B Windows Server ファミリについて31

付録 C 付属ソフトウェア32

付録 D Windows 使用時の補足情報33

付録 A Windows 情報

Windows に関する情報提供についてご案内します。

付録 A.1 Windows 情報の提供サイト

日立のシステム装置の Windows サポートに関する情報は、次の Web サイトで紹介しています。

- 「Windows 情報」： http://www.hitachi.co.jp/products/it/windows_os/index.html

お使いになるシステム装置やミドルウェアのサポート状況、使用上の制限など、こちらでご確認ください。

付録 A.2 Windows 使用上の制限事項

Windows 使用上の制限事項は、『ユーザズガイド』CD-ROM に格納される『Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド』に記載しております。ご使用になる前にご一読ください。

付録 B Windows Server ファミリについて

ここでは、システム装置がサポートする Windows Server ファミリの種類および Service Pack (SP) について説明します。

付録 B.1 Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012

Windows Server 2012 ファミリの種類と SP は次のとおりです。

対象 OS	プロセッシング	サポートしている SP
Windows Server 2012 R2 Standard	64 ビット	SP なし
Windows Server 2012 Standard	64 ビット	SP なし

付録 B.2 Windows Server 2008 R2

Windows Server 2008 R2 ファミリの種類と SP は次のとおりです。

対象 OS	プロセッシング	サポートしている SP
Windows Server 2008 R2 Standard	64 ビット	SP1 または SP なし

付録 C 付属ソフトウェア

RAID 管理ツールなど、システム装置に付属するソフトウェアは『Hitachi Server Navigator』DVD に格納されています。

システム装置が必要とするソフトウェアについては、『Hitachi Server Navigator』DVD の Support.html をご参照ください。

また、付属ソフトウェアの使いかたについては『ユーザーズガイド』CD-ROM に格納されるマニュアルをご参照ください。

付録 D Windows 使用時の補足情報

ここでは、Windows を使用するうえでの補足情報について説明します。

付録 D.1 標準 LAN コントローラについて

システム装置の標準 LAN コントローラ（ネットワークアダプタ）と装置背面のネットワークインタフェースコネクタの位置関係は、次のとおり対応しています。

システム装置	標準 LAN コントローラ	ネットワークインタフェースコネクタ
RS110 xM1	Broadcom BCM5718	・ ネットワークインタフェースコネクタ 1 : PCI バス 4、デバイス 0、機能 0 ・ ネットワークインタフェースコネクタ 2 : PCI バス 4、デバイス 0、機能 1
TS10 xM1	Broadcom BCM5718	・ ネットワークインタフェースコネクタ 1 : PCI バス 4、デバイス 0、機能 0 ・ ネットワークインタフェースコネクタ 2 : PCI バス 4、デバイス 0、機能 1

索引

■ W

システム装置 [vi](#)

Windows Server 2008 R2

インストール代行サービス付モデルのセットアップ
[25](#)

セットアップ概要 [18](#)

セットアップ方法 [21](#)

ブレインストールモデルのセットアップ [23](#)

Windows Server 2012

セットアップ概要 [10](#)

セットアップ方法 [12](#)

ブレインストールモデルのセットアップ [14](#)

Windows Server 2012 R2

セットアップ概要 [2](#)

セットアップ方法 [4](#)

ブレインストールモデルのセットアップ [6](#)

■ あ

安全に関する注意事項 [x](#)

■ き

技術支援サービス [ix](#)

規制・対策

高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 適合品 [iii](#)

雑音耐力 [iv](#)

電源の瞬時電圧低下対策 [iii](#)

電波障害自主規制 [iii](#)

輸出規制 [iv](#)

■ し

システム装置

信頼性 [iii](#)

重要なお知らせ [iii](#)

商標 [ii](#)

■ は

廃棄・譲渡時のデータ消去 [v](#)

著作権 [ii](#)

■ ま

マニュアルの表記

オペレーティングシステムの略称 [vii](#)

[illegible]

日立アドバンストサーバ HA8000 シリーズ

ユーザーズガイド
～ Windows セットアップ編～

HA8000/RS110 AM1/BM1/CM1/EM1 HA8000/TS10 AM1/BM1/CM1/EM1

2014 年 6 月～モデル

初 版 2014 年 6 月

第 2 版 2015 年 4 月

無断転載を禁止します。

 **株式会社 日立製作所**
ITプラットフォーム事業本部

〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地

<http://www.hitachi.co.jp>

P1E1M11410-2